

# あさひへのエール

平成 29 年度 旭高校学校運営協議会通信

第 1 号

平成 29 年 8 月 1 日

校長 古谷 康司

平成29年度からコミュニティ・スクールに指定された旭高校は、6月6日（火）に第1回学校運営協議会を開催しました。校長が「学校の応援団になってください」と依頼し、快く受けていただいたメンバー全員が集まり、二つに分かれての部会では、建設的な意見が交わされました。

## 全体会

学校運営協議会の組織及び平成 29 年度学校方針が承認されました。

【構成員】（会長）川井地域連合会長、中学校長、小学校長、幼稚園長、国立大学教授、私立大学入試企画課長、ロータリークラブ会長、地域福祉施設所長、PTA会長、校長

### 教育活動活性部会

学校外の力を借りて課題解決等の  
アイデアを話し合う

生徒の学ぶ意欲を向上させるため、授業評価の工夫や家庭学習の定着方法について意見が出た。また、自ら学習する姿勢を身につけさせ、指定校合格者が学びを中断してしまう課題について協議した。地域の力を活用し、体験学習や現役で活躍している社会人の話を聞くことで、その仕事に就きたい意欲が高められるとまとめられた。

### 地域連携部会

地域との協働を促進するための  
アイデアを話し合う

地域を小さな社会と位置づけ、地域連携で生徒に社会体験をさせるとよいと意見が出た。地元でのボランティア活動や職場体験が就職に繋がれば、地域連携も深まる。単発な取組ではなく、今後につながるカリキュラムを立ち上げ、生徒の将来を見据えたキャリア教育を展開する必要があるとまとめられた。

旭高校は地域を大切にしたい教育活動を展開してきました。ボランティア活動は、部活動での活動を活性化し、個人でも参加しやすい体制を整えました。その成果として、学校の特色に成長し、地域の皆様に認めていただけるまでになりました。そして、さらなる発展のための強力な応援団ができたことをうれしく思い、改めて委員の皆様にお礼申し上げます。協議会后すぐに、地域の幼稚園と保育園で実践体験ができる機会を設けていただきました。これからは、部会でいただいた意見を実現化することが大切です。担当職員も意識を高くし頑張っています。これからも応援よろしく申し上げます。 校長